

第 40 期第 14 回理事会議事録

日時：2020 年 2 月 12 日（水） 15 時 30 分～17 時 30 分

会場：ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区）402 会議室

出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳暁典，氏家将志，榎本 剛，小池 真，佐藤 薫，佐藤正樹，新保明彦，竹見哲也，仲江川敏之，中村 尚，早坂忠裕，平松信昭，廣岡俊彦，堀之内 武，余田成男，渡部雅浩 以上 19 名

Web 会議システムを通じた出席理事：坪木和久 以上 1 名

（理事数現在 20 名）

出席監事： 鈴木 靖，高谷康太郎 以上 2 名

その他の出席者： 松村崇行（中部支部長），勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局） 以上 4 名

議 題

1. 協議事項

1) 第 40 期第 13 回理事会議事録の確認

議事録案について，軽微な修正の後，全会一致で承認した。

2) 会員の新規加入等について

新入会 65，退会 137 を全会一致で承認した。2020 年 2 月 10 日現在，会員数 3,327 名で個人会員は 3,127 名。

3) 2020 年度事業計画及び収支予算について

事前に各事業担当から提出された 2020 年度事業計画をとりまとめた案について検討した。また，昨年度実績と今年度実施状況に基づき作成された 2020 年度収支予算案が示され，理事会開催の頻度削減及びウェブ会議の利用等による旅費交通費等の経費削減があるものの，全体で約 100 万円弱の赤字が想定されている状況との説明があった。検討の結果，2020 年度事業計画及び収支予算について，全会一致で承認した。

4) 支部交付金の見直しについて

支部強化基金の財源の状況を踏まえ，支部強化基金を廃止し，講演会やサイエンスカフェ等の普及啓発活動への助成を新設すること，本見直しを 2020 年度より実施することが提案され，全会一致で承認した。

5) 前渡金等取扱要領の一部改正について

支部交付金の見直しが承認されたこと，各委員会に対する前渡金の現状を踏まえ，前渡金等取扱要領の一部改正が提案され，全会一致で承認した。

6) 各事業に関連する費用額の配賦基準に関する規則の一部改正について

刊行事業の細分事業である予稿集事業を，本年度から研究会事業の細分事業である大会開催事業として実施したことに伴い，各事業に関連する費用額の配賦基準に関する規則の一部改正が提案され，全会一致で承認した。

7) 職員規則の一部改正について

昨今の定年延長にかかる情勢及び今後の事務局職員の安定的な雇用維持を実現するため、事務局職員の定年について現行の満 65 歳から満 68 歳への変更が提案され、全会一致で承認した。

2. 報告事項

1)業務執行理事の報告

庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・転載許可

なし

- ・後援名義等使用依頼受付

①名称：第 24 回「震災対策技術展」横浜

主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会

期日：2020 年 2 月 6 日～7 日

場所：横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）

名義：後援

②名称：講習会「都市の風環境予測のための CFD ガイドブック」

主催：一般社団法人 日本建築学会

期日：2020 年 1 月 30 日

場所：建築会館ホール

名義：後援

③名称：第 8 回ライフガード TEC2020～防災・減災・危機管理展～

主催：名古屋国際見本市委員会

期日：2020 年 5 月 14 日～15 日

場所：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）

名義：協賛

④名称：防犯防災総合展 2020

主催：防犯防災総合展実行委員会

期日：2020 年 6 月 11 日～12 日

場所：インテックス大阪

名義：後援

⑤名称：雷サミット 19

主催：雷文化都市構築推進委員会

期日：2020 年 1 月 25 日

場所：鶴岡市先端研究産業支援センター

名義：後援

- ・寄附者リスト（2019.10.26～2020.2.10）

なし

- ・名義使用許可申請：2021年度秋季大会を三重大学との共催とするため、三重大学に申請していることが報告された。この共催が実現すると同大会の会場費が無料となる。

会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年11,12月分及び2020年1,2月分の収支及び現預金検査報告。
- ・2019年度秋季大会開催経費の決算について（報告）。
- ・研究連絡会等補助金申請及び報告
 - ①第11回熱帯気象研究会（2019年12月26日～27日，於富山大学）
 - ②第21回非静力学モデルに関するワークショップ（2019年11月21日～22日，於三重大学）
 - ③気象災害委員会・メソ気象研究会合同研究会（2019年10月27日，於九州大学）

企画調整担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・内閣府公益認定等委員会による立入検査が2019年11月28日に実施された。同委員会検査官より本学会の活動は適切に実施されているとの講評が示された。その上でいくつかの指摘があり、これらは今後の内閣府への定期報告及び次回同委員会による立入検査（3年後）で確認されることとなった。指摘事項は以下のとおり。

- ①学会事務室の表札に「公益社団法人」を記載する。
 - ②議事録に割印を押印する。
 - ③議事録の「業務執行理事の報告」は業務執行理事が報告したことが分かるよう、「庶務担当執行理事」、「会計担当執行理事」等と明記する。
 - ④事業計画書及び収支予算書の議案名を、定款第40条に基づき、「・・・年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて」とする。
 - ⑤各賞の選考が公平に実施されていることが分かるよう、選考過程の議事録及び選考プロセスのフロー（最終的には理事の投票による決定）を学会事務局に備える。
 - ⑥定款第40条第3項の5年間備え置き書類を、年度毎に一つのファイルにしておく。内容は、内閣府への定期報告資料（毎年6月中に報告）で作成する。
- ・2010年以降継続している法律顧問契約について、現在は相談回数も少なく別途相談料が生じている状況及び昨今の本学会の財政が厳しい状況に鑑み、今年度末をもって法律顧問契約を解除すること、今後万が一訴訟問題が発生する等の特別な状況が生じた際にはその都度契約することが提案され、全会一致で承認した。

2)委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

- ・日本気象学会2020年春季大会について、講演申し込みが合計300件となったこと、事前登録をウェブで2020年5月15日まで受け付けること、電子予稿集をオンラインで配布予定であること、ポスター会場が狭いことからポスター・セッションを2部制にす

ることや口頭発表に移っていただくことなどを検討している。

・学会予稿集に ISSN を付与するため、国立国会図書館（ISSN 日本センター）に申請し、冊子体、電子版共に ISSN を取得した（正式通知は 2020 年 1 月 29 日）。

冊子体の ISSN（Print ISSN）：2435-3280

電子版の ISSN（Online ISSN）：2435-3299

天気編集・・・以下の内容が報告された。

・Vol.67 No.1, 2, 3（2020 年 1, 2, 3 月）の掲載記事と、Vol. 67 No.4, 5（2020 年 4, 5 月）の掲載予定記事。

・掲載料免除申請 1 件を承認。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

・2019 年気象集誌論文賞を 4 編選定。なお 2019 年の全論文受理数は 67。今後、各論文賞論文について賞状ホルダー 1 個および全共著者分の賞状を贈呈するものとする。

・掲載料免除申請 1 件を承認。

・論文査読状況。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告（書面）された。

・2019 年 SOLA 論文賞を 1 編選定。なお 2019 年の全論文公開数は 59。各論文賞論文について賞状ホルダー 1 個および全共著者分の賞状を贈呈するものとする。

表彰関連・・・以下の内容が報告された。

・2020 年度学会賞候補者を選定。

・2020 年度藤原賞候補者を選定。

・2020 年度岸保・立平賞候補者を選定。

・2019 年度日本気象学会秋季大会松野賞候補者を選定。理事会は全会一致で推薦された全員を松野賞受賞者に決定した。

学術・・・以下の内容が報告された。

・第 24 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン 2020）「学術大型研究計画」に応募した「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」が選定された（2020 年 1 月 30 日通知）。また、当該研究計画は「文部科学省ロードマップ 2020」の策定にあたり審査対象となることから、必要な書類の提出を含め対応を進める。

地球環境・・・以下の内容が報告された。

・朝倉書店が企画している異常気象を対象とした刊行物に関する検討状況。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

・第 50 回気象サイエンスカフェ東京（2019 年 11 月 30 日）、先生のための気象教育セミナー（2020 年 1 月 5 日）の実施。

・気象サイエンスカフェ in つくばの開催予定（2020 年 3 月 14 日）の開催予定。

・日本気象学会 2020 年春季大会時のジュニアセッションについて、文部科学省及び公益社団法人全国高等学校文化連盟の後援を得た。

・日本気象学会 2020 年春季大会時の公開気象講演会について、テーマを「命を守る身近な気象情報」とする予定。

・2020年度の夏季大学について、2020年8月22日～23日に気象庁講堂にて開催し、テーマを「雲の科学」とする予定。

・気象研究ノート「気象教育特集」の進捗。

国際学術交流・・・以下の内容が報告された。

・2019年度秋季大会時に開催した第2回小倉特別講義（Prof. Sir Brian Hoskins）及び連携セッションについて、特別講義は約250名の参加を得た。また、講師にCertificateをお渡しした。講義資料と動画は後日会員サイトに掲載の予定。経費の報告。

・第3回小倉特別講義の検討状況。2021年度春季大会での開催を案とする。

・2019年度下半期の旅費・会議開催補助申請1件について了承し旅費を支給した。

・米国気象学会（AMS）との連携に関する検討状況。連携に関する協定を結ぶ場合には、現時点で会員種別に無い「Affiliate membership」の設定が必要となる。協定を結ぶことは会員のAMS大会への参加が容易になることが想定されるなどメリットがあることから、理事会は国際学術交流委員会に協定締結を想定して調整を進めることを依頼した。これに関連し、将来的には日本気象学会の大会において英語によるセッション開催の可能性も検討項目の一つであるかもしれないことが理事会内で共有された。

2020年3月13日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 鈴木 靖

監事 高谷康太郎